

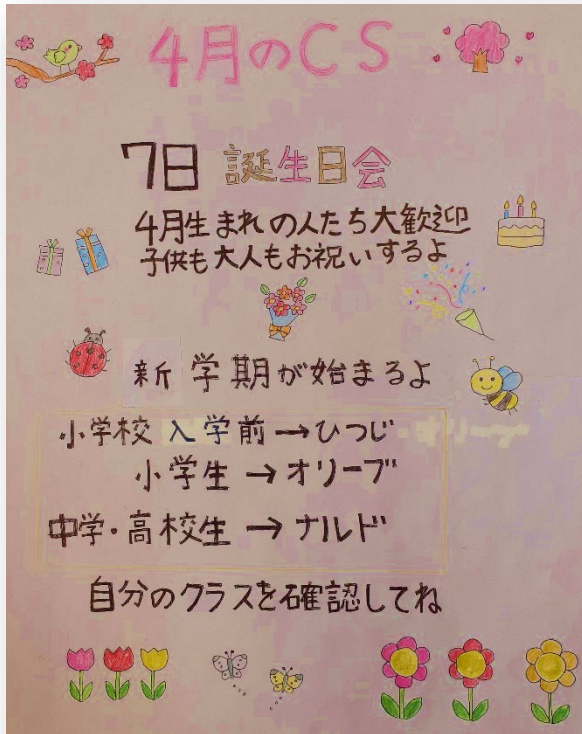
# CS だより

## 4月号

日本キリスト教団逗子教会

牧師 小宮山剛

校長 渡辺 信



### 祈りとは心をとぎ澄ませること

『神に耳を傾けるのは、耳新しいことを知るためではない。目の前にあることに目覚めるためである。』

◆ジョイス・ハジェット



今年度は、『祈りの泉』(ジーン・ヒントン編著)の中から、その月の祈りの言葉を載せていきます。

4月に入り、新たな気持ちでそれぞれの道を歩み始めていることと思います。お一人お一人に、神様のお導きがありますよう、CS スタッフ一同、お祈りしています。このCS だよりの紙面も、少し変わりました。皆様のご意見をお寄せください。

3月31日には久しぶりに、イースターの早天礼拝が行われ、エッグハントの後、一緒に朝食をいただきました。



## 「よみがえられたイエスさま」

聖書 マタイによる福音書 28 章 20 節

きょうはイースターです。とてもうれしい日です。教会のたいせつなおいわいの日です。でも、その前にはとてもかなしいことがありました。それは、イエスさまが死んでしまわれたことです。神さまが送ってくださったイエスさま。みんなも大好きなイエスさま。そのイエスさまが、十字架という死刑台にかけられて、死んでしまわれました。そしてお墓にほうむられました。

弟子たちも、イエスさまを信じていた人たちも、みんなショックでした。そのイエスさまの体は、お墓にほうむられました。お墓にほうむられると、もう終わりです。二度と元に戻りません。ですからみなとってもかなしみました。それが金曜日のことでした。

そしてつぎの日が安息日。みな休まなければならない日でした。そしてその次の日はなによい日ですか？……そう、日曜日ですね。日曜日の朝はやく、女のおでしさんたちがイエスさまのお墓に行きました。金曜日の夕がた、死んだイエスさまを急いでお墓にほうむったので、もういちどイエスさまの体をきれいにしてさしあげようと思ったのです。

そうしてお墓につくと、お墓の入り口をふさいでいた大きな石がどかされていました。そして天使がいました。天使は女のおでしさんたちに言いました。「おそれることはない。十字架につけられたイエスは、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活(ふっかつ)なされたのだ。……」女のおでしさんたちはおどろいて、そして喜んで私たちに知らせに行こうとしました。するとイエスさまに出会ったのです。イエスさまはよみがえられたのです。それが復活です。神さまがよみがえらせてくださったのです。

こうして、イエスさまによって死は終わりではなくなりました。イエスさまを信じるならば、神さまのところに行くことができるようになったのです。

そしてイエスさまはでしたちにおっしゃいました。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる。」いまもイエスさまは、イエスさまを信じる人とともにいてくださいます。私たちの目には見えませんが、イエスさまがいっしょにいてくださいます。ですから、困ったことがあってもだいじょうぶです。イエスさまに「たすけてください」とお祈りしてください。つらいときも、悲しいときも、イエスさまはともにいてくださいます。こうして、イエスさまとともに、あゆんでいけるようになったのです。

そして教会は、イエスさまの復活された日、つまり日曜日に礼拝をするようになりました。礼拝をしながら、イエスさまといっしょにあゆんでいくのです。





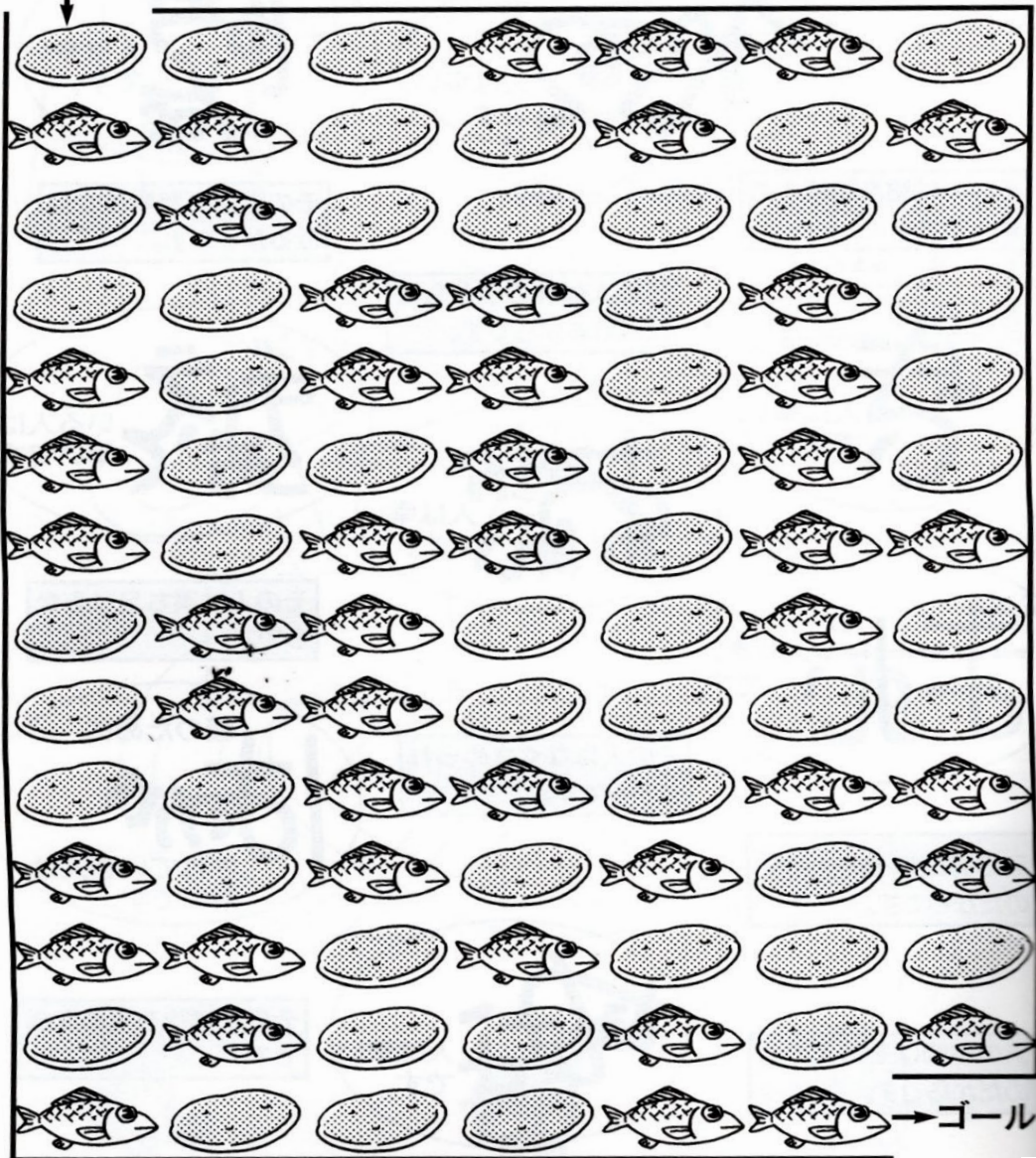
# 今月のパズル

## 5つのパンと2ひきの魚

マタイの福音書  
14章13~21節

イエスさまは、5つのパンと2ひきの魚を祝福して、たくさんのおなかをいっぱいにして下さいました。パン5つ、魚2ひきの順に進んでゴールをめざして下さい。ななめには進めません。通り道が交わらないようにして下さい。

スタート

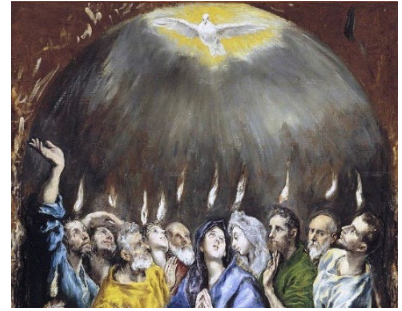


解答は、次ぎのページにあるよ

## これからの予定

### 5月19日 パンテコステ(聖霊降臨祭)

よみがえられたイエスさまが、天に昇られ  
天から聖霊を送ってくださいました。  
来月号で、またお知らせしますね。



『こひつじたちのあいうえお』から、順番に、聖書のことばと絵を  
紹介します。スタートは、『あ……愛』です。

# 愛



愛は、すべてを完成させるきずなです。(コロサイの信徒への手紙 3章 14節)

パズルの解答

